

観光列車の取り組み

スタートレイン計画

お客様、地域、当社、関わるすべての方々を光り輝かせる、という想いが込められた「スタートレイン計画」。古くからの近江商人の経営哲学を示す「三方よし」(売り手よし、買い手よし、世間よし)を具現化するべく関係者で準備を進めてきました。

2026年度は2027年2月の「赤い星」札幌～網走間の運行開始を控え、11月にはお食事付きの「ランチプラン」の販売を開始します。ここでしか体験できない、生涯心に残る鉄道の旅をご提供できるよう、車両の改造工事や乗務員など関係する社員の養成、また販売・サービス体制を仕上げていきます。

運行区間ごとの列車名称



「赤い星」編成



「青い星」編成

運行時期	運行区間	列車名称
2月上旬～3月上旬 (2028年は1月下旬から運行予定)	札幌発 網走行き	赤い星 オホーツクの風
	網走発 札幌行き	赤い星 雪華(せっか)の風
4月下旬～7月中旬	釧路発 知床斜里行き	赤い星 湿原のいぶき
	知床斜里発 釧路行き	赤い星 山麓のめぶき
★7月下旬～11月上旬は、東急(株)や旅行会社が主催する道内クルーズ列車として運行予定です。		
運行時期	運行区間	列車名称
夏 期	旭川～富良野	青い星 丘のいろどり 1～4号
冬 期	網走～知床斜里	青い星 流水物語 1～4号

各種プランについて

「赤い星」編成は全席をラグジュアリークラスの座席・設備とし、個室、セミコンパートメント、ボックス席など多様なニーズに対応する座席種別を設定しています。座席種別ごとに、ランチやスイーツをお楽しみいただけるランチプラン・ティータイムプランを計60席程度、ご乗車のみプランを計10席程度販売予定です。このほか、ランチプラン・ティータイムプランを組み込んだ宿泊型の旅行商品を旅行会社でも販売予定です。



ボックス席(1・3号車)



セミコンパートメント(3号車)



2人用個室(4号車)



5人用・6人用個室

「青い星」編成はより多くのお客様に上質な空間をお楽しみいただけるよう、全席をボックス席とし、ご乗車のみプラン単一での販売を予定しています。また、各車両に展望室を設置しており、フリースペースとしてご利用いただけるほか、時期や区間を限定して、地域の皆様による物販や簡単なイベントを実施予定です。



ボックス席



展望室(マルチルーム)

HOKKAIDO LOVE!ひとめぐり号の運行

多目的特急車両「ラベンダー」・「はまなす」編成で北海道内を周遊する貸切列車として2021年10月から始まり、今年で6回目の運行となります。日本航空(株)の客室乗務員である「JALふるさとアンバサダー」北海道地区担当が企画段階から携わり、オリジナル車内アナウンスや、車窓から広がる北海道の魅力をお伝えするなど、航空機の機内さながらの雰囲気列車内でお楽しみいただける様々な企画を準備しています。



THE ROYAL EXPRESSの運行

2020年より、北海道胆振東部地震の影響を受けた北海道を応援するため、また、観光振興と地域活性化を目的として東急(株)と共同で北海道での運行を開始し、今年で7年目となります。



THE ROYAL EXPRESS

SL冬の湿原号の運行

SL冬の湿原号は、2021年度から内装のリフレッシュなどのリニューアルを実施し、2022年度に完了しました。白銀の釧路湿原を力強く疾走する「SL冬の湿原号」は、冬の道東観光の風物詩です。1・5号車の「たんちようカー」に加え、2～4号車「ストーブカー」はノスタルジーを感じるとこか懐かしいレトロな室内へリニューアルし、魅力度がアップしました。



SL冬の湿原号



たんちようカー